

各常任委員会の
主な質疑から

総務常任委員会

就学支援金の加算対象者が見込みより多いということは、同様に低所得世帯を支援している県の授業料減免補助制度の活用も増えると考えられているのか。

また、低所得者が増えるということであれば、授業料減免補助制度の拡充を図ることも必要になってくると思うが、どう考えるか。

今回の就学支援金申請者数から判断すると、減免対象者も前年度と比較で二千人以上増える可能性があると考えている。

また、経済的理由により就学が困難な生徒の支援については、就学支援金制度の加算措置に加え、国の財源措置として交付税が一人当たり二千元から五千元に引き上げられたところである。

近く、各学校において開始される授業料減免の申請状況を見ながら、また、国からの財源措置の趣旨や就学支援金制度と県の減免制度との整合などを勘案して、制度の拡充について、更に研究していきたい。

健康福祉常任委員会

子ども医療費助成について、十二月からすでに現物給付できるようにするため、市町村に対する情報提供のスケジュールはどうなっているのか。

県では、これまで市町村に対し、三月十八日に担当者説明会を開催し、十二月までの作業スケジュールについて説明を行った。また、受給券の様式改正については、五月十日に通知したところである。今後も、審査支払機関における

システム改修の状況や県から行う医療機関への周知の内容について適宜、情報提供していきたいと考えている。

環境生活警察常任委員会

千葉県内における暴力団の情勢はどうか。
また、現在検討している「暴力団排除条例」とは、どのようなものなのか。

平成二十一年末現在、県内では、約百二十組織、約二千八百人の暴力団勢力を把握している。

暴力団構成員等の数は、暴力団対策法が施行された平成四年以降、全国では約一万人減少しているが、本県では、ほぼ横這いの状態で推移している。

暴力団排除条例については、現在、各県において暴力団排除に関する基本理念を定め、県及び県民等の役割を明らかにするとともに、暴力団排除に関する基本的施策、暴力団員等に対する利益の供与の禁止等を定めることが検討されている。

本県においても、その制定について、本県の実情を踏まえ、関係部局と十分に協議しながら検討していきたい。

商工労働企業常任委員会

かずさアカデミアパーク構想については、社会情勢や経済情勢の変化があり、企業立地も進まなかったとのことだが、構想の見直しは考えないのか。

かずさアカデミアパーク構想策定後、昭和六十二年一月に、具体的に事業を進めるための基本的な考え方を示す「かずさアカデミアパーク推進方針」と「第一期事業化計画」を策定した。

構想自体の見直しは行ってないが、区画の小規模化や緑地率の引き下げなど、事業推進の方法は

農林水産常任委員会

農林水産関係の緊急雇用創出事業については、今回の補正で三十九人雇用するということが、効果はあるのか。

平成二十二年度、農林水産部では、今回の補正により当初予算と合わせて百五十九人の雇用創出を考えている。

対象事業については広く拾い出しを行い、本来の目的である雇用創出に資するものを選定した。

県土整備常任委員会

一宮海岸の今後のヘッドランド工事の進め方については、官民合同の協議会である「二宮の魅力ある海岸づくり会議」での確認内容を尊重するのか。

県としては、海岸侵食対策としてヘッドランドは必要であると考えており、海岸づくり会議の中でも十分に説明し、工事を進めていきたい。

文教常任委員会

いわゆる、ゆとり教育による子どもたちの学力の状況をどのように認識しているのか。

国際的な調査では、日本の子どもたちの読解力が低下しているとの報告があり、千葉県においても独自に実施した学力状況調査の中で、思考し表現する力、学習意欲、学んだことを他の教科や実生活の中に生かそうとする意識などに課題があると認識している。

可決・承認・同意された議案

- 平成二十二年度補正予算関係(一件)
- 一般会計
- 条例の制定(一件)
- 千葉県過疎地域県税課税免除条例

条例の一部改正(八件)

- 職員の退職手当に関する条例
- 千葉県行政組織条例
- 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例
- 千葉県県税条例等
- 使用料及び手数料条例
- 千葉県医療技術大学設置管理条例等
- 千葉県県立高等学校設置条例
- 千葉県病院事業の設置等に関する条例

その他(八件)

- 契約の締結
- 契約の変更
- 財産の取得
- 訴えの提起
- 専決処分承認
- 取用委員会委員の任命
- 監査委員の選任(二件)
- 議員報酬の特例に関する条例

可決された意見書・決議

- 私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書
- 「風吹けば京葉線がとまる」という異常な鉄道交通の改善を求める意見書
- 警察官の増員に関する意見書
- ばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書
- 地球温暖化政策の抜本的な変更を求める意見書
- 非線引き都市計画区域内における農地転用手続き等の緩和を求める意見書
- コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書
- 教育公務員特例法の早期改正を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書
- 小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書
- 国における平成二十三年教育予算拡充に関する意見書
- 議案第一号「平成二十二年度千葉県一般会計補正予算(第一号)」に関する附帯決議

採択された請願

- 古紙抜き取り行為の未然防止に係る対策の促進を求めることについて
- 清掃・設備等委託業務における品質確保について(第一項、第四項)
- 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種を早期に求めることについて(第二項、第三項)

ちば中学生県議会決議文

積極的な観光PRと魅力的な千葉づくりに関する決議

千葉県は、首都圏の東に位置し、成田国際空港、東京湾アクアラインをはじめとする国内外からの交通アクセスの良さ、日本を代表する複合エンターテインメント「幕張メッセ」、東京ディズニーリゾートに代表される大規模なレジャー施設などがある一方、海や山などの豊かな自然があり、新鮮な海の幸・山の幸にも恵まれ、皆さんの魅力も数多くあります。最近では、アクアラインの通行料金の引下げで、千葉県を訪れる観光客も大幅に増えています。

また、排気ガスの出ない「千葉都市モノレール」や、バイオディーゼル燃料を活用した「いすみ鉄道」、そして観光地での「レンタサイクル」など、地球環境にやさしい取り組みも盛んです。

しかし、こうした交通アクセスの良さ、バラエティに富んだレジャー施設、豊かな自然とおいしい食べ物などといった「千葉の魅力」は、全国的にはあまりよく知られていません。多くの皆さんが千葉県へ訪れてもらうには、様々な手段を通じて積極的にアピールして、千葉県の魅力を全国に向けて発信し、千葉県の知名度を高めていく必要があります。

そのためには、私たち、生まれ育ったふるさと歴史や名所、名産品・特産品などについて学び、一人ひとりがもつと地域に誇りを持ち、他人に優しくなることが大切です。そして、そうした取り組みにより、千葉県を訪れる人々の、千葉県に対する好感度を高めることにもなると思います。

今年九月二十五日からは、国内最大のスポーツの祭典「ゆめ半島千葉国体」が十一日間わたって、その後、十月二十三日からは全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」が三日間わたって開催されます。全国から多くの大会関係者や観光客が訪れ、千葉県の魅力を直接アピールできる絶好のチャンスです。

こうしたことから、ちば中学生県議会として、全国の人々に千葉県の魅力を知っていただき、興味を持っていただけるよう、千葉県の様々な魅力を積極的にPRするとともに、県民の一人ひとりが、他の人々への優しい気持ちと「ふるさと千葉」の魅力をもっと認識し、誇りを持ちながら、みんなの力で千葉県の魅力づくりに取り組むことを、強く希望します。

以上、決議する。
平成二十二年五月二十八日
ちば中学生県議会

常任委員会委員

委員会名	総務	総合企画水道	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文教
定数/現員	12/12	12/10	12/12	12/11	12/11	11/9	12/12	12/12
委員長	伊藤 昌弘(自民党)	瀧田 敏幸(自民党)	亀田 郁夫(自民党)	鈴木 昌俊(自民党)	鈴木 衛(自民党)	大松 重和(自民党)	佐野 彰(自民党)	大野 眞(自民党)
副委員長	山中 操(自民党)	山本 義一(自民党)	木名瀬捷司(自民党)	信田 光保(自民党)	服部 友則(自民党)	鶴岡 宏祥(自民党)	石毛 之行(自民党)	矢野 光正(自民党)
委員	斎藤 万祐	伊藤 和男	鈴木 良紀	河上 茂	浜田 穂積	田久保尚俊	本清 秀雄	宇野 裕
	穴倉 登	成尾 政美	川名 寛章	阿部 紘一	田中 宗隆	酒井 茂英	遠藤 澄夫	佐藤 正己
	近藤喜久夫	岡村 泰明	石橋 清孝	小島 武久	皆川 輝夫	伊藤 勲	阿井 伸也	吉本 充
	木下 敬二	伊藤 丈	谷田部勝男	山口 登	渡辺 芳邦	秋山 光章	今井 勝	西田三十五
	西田 譲	松下 浩明	林 幹人	江野澤吉克			武田 正光	内田 悦嗣
	河野 俊紀	花崎 広毅	石井 宏子	杉田 守康	天野 行雄	田中 明	高木 衛	湯浅 和子
田中 信行	高橋 浩	磯部 裕和	堀江 圭司	矢崎 堅太郎	岩井 覚	遠藤 英喜	横堀 喜一郎	
篠崎 史範			竹内 圭司	高松 健太郎			布施 健太郎	
公明党	石川 信一	秋林 貴史	阿部 俊昭	吉野 秀夫	藤井 弘之	塚定 良治	赤間 正明	
共産党	小松 実		丸山 慎一			三輪 由美	岡田 幸子	
市民ネット・社民無所属			大野 博美		小宮 清子	吉川 洋	川本 幸立	

(平成22年6月25日現在)

議会において選任された委員・議員

監査委員	阿部 紘一(自民党)
	伊藤 勲(自民党)
君津広域水道企業団議会議員	吉本 充(自民党)

(平成22年6月22日現在)

議会運営委員会委員

16/16		
委員長	田中 宗隆(自民党)	
副委員長	川名 寛章(自民党)	
委員	小島 武久	山口 登
	皆川 輝夫	木名瀬捷司
	西田三十五	渡辺 芳邦
	今井 勝	瀧田 敏幸
	松下 浩明	河野 俊紀
	岩井 覚	遠藤 英喜
石井 宏子	塚定 良治	
委員外議	丸山 慎一	小宮 清子

(平成22年6月22日現在)